

欄に数値またはコメントを記入(15点を上回る得点をもつる評価項目は解説シートでの得点を必須とする)

④スコアシート

記述項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・全体部分		住居・居住部分		全体	建物全体 解説シート の得点欄 の得点欄	住居部分 解説シート の得点欄 の得点欄
		評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質・性能</b>								
<b>Q-1 室内環境</b>			0.15			3.4		
<b>1 音環境</b>		3.0	0.15			3.0		
<b>1.1 騒音</b>								
1 聴覚レベル		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
2 設備騒音対策		3.0	-	3.0	-		-	-
<b>1.2 雑音</b>		3.0	0.70					
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0	-		3.0	3.0
2 非壁遮音性能		3.0	0.40	3.0	-		3.0	3.0
3 床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
4 床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
<b>1.3 低音</b>		3.0	0.30	3.0	-		3.0	3.0
<b>2 気象環境</b>		3.4	0.35			3.4		
<b>2.1 室温制御</b>		2.8	0.50					
1 室温設定		3.0	0.30	3.0	-		3.0	3.0
2 負荷変動・追従制御性		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
3 外皮性能		2.0	0.20	3.0	-		2.0	3.0
4 ゾーン別制御性		3.0	0.50	3.0	-		3.0	3.0
5 温度・湿度制御		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
6 個別制御		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
7 時間外空調		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
8 監視システム		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
<b>2.2 湿度制御</b>	明免エリアは外気処理PACによる除湿・加湿	4.0	0.20	3.0	-		4.0	3.0
<b>2.3 空調方式</b>	上下温度差3℃以内、気流0.3m/s以下	4.0	0.30	3.0	-		4.0	3.0
<b>3 光・視環境</b>		3.0	0.25			3.0		
<b>3.1 昼光利用</b>		3.0	0.30					
1 昼光率		3.0	0.60	3.0	-		3.0	3.0
2 方位別開口		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-		3.0	3.0
<b>3.2 グレア対策</b>		3.0	0.30					
1 照明器具のグレア		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
2 昼光制御		3.0	0.15	3.0	-		3.0	3.0
<b>3.3 照度</b>		3.0	1.00					
1 設計照度		3.0	1.00	3.0	-		3.0	3.0
2 照度均斉度		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
<b>3.4 照明制御</b>		3.0	0.25	3.0	-		3.0	3.0
<b>4 空気環境</b>		3.9	0.25			3.9		
<b>4.1 汚染対策</b>		4.0	1.00					
1 化学物質汚染		4.0	1.00	3.0	-		4.0	3.0
2 絨物繊維対策		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
3 タニ-カビ等		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
4 レゾネラ対策		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
<b>4.2 換気</b>		3.7	0.30					
1 換気量	建築基準法を満たす換気量の125%	4.0	0.33	3.0	-		4.0	3.0
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-		3.0	3.0
3 取り入れ外気への配慮	外気取入口が排気口と6m以上離している	4.0	0.33	3.0	-		4.0	3.0
4 給気・排気ダクト計画		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
<b>4.3 運用管理</b>		4.0	0.20					
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	0.50				3.0	
2 喫煙の制御	全館禁煙、喫煙は外部にて対応	5.0	0.50				5.0	
<b>Q-2 サービス性能</b>			0.30			3.7		
<b>1 運動性</b>		4.3	0.40			4.3		
<b>1.1 運動性・使いやすさ</b>		4.3	0.60					
1 広さ・収納性	1人当りの軌道スペースが9㎡以上	4.0	0.33	3.0	-		4.0	3.0
2 情報設備への建築・設備的対応	OAFフロア、プレワイヤリング、コンセント容量40~60VA/㎡	5.0	0.33	3.0	-		5.0	
3 ハバフア-計画	東京都福祉のまちづくり条例への対応	4.0	0.33	3.0	-		4.0	
<b>1.2 心理性・快適性</b>		4.3	0.40					
1 広さ感・景観	天井高2.8m以上	4.0	0.33	3.0	-		4.0	3.0
2 リアレーションスペース	各所にリアレーションスペースを確保	4.0	0.33	3.0	-		4.0	3.0
3 内装計画	家具を含めたインテリア計画	5.0	0.33	3.0	-		5.0	3.0
<b>2 耐用性・信頼性</b>		3.1	0.31			3.1		
<b>2.1 耐震・免震</b>		3.0	0.48					
1 耐震性		3.0	0.80				3.0	
2 免震・制震性能		3.0	0.20				3.0	
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>		3.3	0.33					
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.29				3.0	
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.12				3.0	
3 配管・配線材の更新必要間隔		4.0	0.29				4.0	
4 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.29				3.0	
<b>2.3 信頼性</b>		3.2	0.19					
1 空調・換気設備		3.0	0.20				3.0	
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20				3.0	
3 電気設備		3.0	0.20				3.0	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20				3.0	
5 通信・情報設備	光・メタルケーブル、漏水対策(MDFの1階設置)	4.0	0.20				4.0	

<b>3 対応性・更新性</b>			3.4	0.29	-	-	3.4	
3.1 空間のゆとり			4.2	0.31	-	-		3.0
1 階高のゆとり		階高4.0m	5.0	0.60	3.0	-		3.0
2 空間の形状・自由さ			3.0	0.40	3.0	-		4.0
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	-		3.0
3.3 設備の更新性			3.1	0.36	-	-		
1 空調配管の更新性			3.0	0.17	-	-		3.0
2 給排水管の更新性			2.0	0.17	-	-		2.0
3 電気配線の更新性			3.0	0.11	-	-		3.0
4 通信配線の更新性			3.0	0.11	-	-		3.0
5 設備機種の更新性			3.0	0.22	-	-		3.0
6 バックアップスペース		設備スペースにバックスペースを確保	4.0	0.22	-	-		4.0
<b>Q-3 室外環境(敷地内)</b>				0.32	-	-	3.3	
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		配置計画、建物高さ、形状・素材の工夫	4.0	0.40	-	-	4.0	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-	3.5	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-		3.0
3.2 敷地内近隣環境の向上		緑化・高木、オープンデッキ、外構への散水	4.0	0.50	-	-		4.0
<b>LR 上(1)の抄す事項の特性</b>				0.40	-	-	3.6	
<b>LR-1 エネルギー</b>				3.0	0.23	-	3.0	4.0
1 建築物の総合省エネ			4.0	0.22	-	-	4.0	
2 自然エネルギー利用			5.0	0.50	-	-	5.0	5.0
2.1 自然エネルギーの直接利用		トップライトと自然換気	3.0	0.50	-	-	3.0	3.0
2.2 自然エネルギーの変換利用		太陽光発電・ホール灯	4.0	0.33	-	-	4.0	5.0
3 設備システムの高効率化		省動力機器、木蓄熱ヒルマルテ	3.0	0.22	-	-	3.0	3.0
4 高効率運用			3.0	0.50	-	-	3.0	3.0
4.1 モニタリング		系統毎の電力量計測	3.0	0.50	-	-	3.0	3.0
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	3.0	3.0
<b>LR-2 資源・マテリアル</b>				0.30	-	-	3.5	
1 水資源確保			3.4	0.15	-	-	3.4	4.0
1.1 節水		節水型器具、設置設備、自動水栓	4.0	0.40	-	-	4.0	4.0
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60	-	-	3.0	3.0
1 雨水利用システム			3.0	0.67	-	-	3.0	対象外
2 雑排水利用システム			3.0	0.33	-	-	3.0	
2 経路増員資材			3.6	0.85	-	-	3.6	
2.1 資源の再利用効率			3.7	0.35	-	-	3.7	4.0
1 既存材料の再利用効率		電伊鋼	4.0	0.67	-	-	4.0	3.0
2 非構造材料の再利用効率			3.0	0.33	-	-	3.0	3.0
2.2 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.04	-	-	3.0	4.0
2.3 健康被害のおそれが少ない材料			4.0	0.08	-	-	4.0	4.0
2.4 既存建築体などの再利用			3.0	0.16	-	-	3.0	3.0
2.5 素材の再利用可能性		躯体と仕上げ材が容易に分別可能	4.0	0.16	-	-	4.0	4.0
2.6 フロン・ハロンの回避			3.3	0.18	-	-	3.3	4.0
1 消火剤		ハロン消火剤を使用していない	4.0	0.33	-	-	4.0	3.0
2 断熱材			3.0	0.33	-	-	3.0	3.0
3 冷媒			5.0	0.33	-	-	5.0	3.0
<b>LR-3 敷地外環境</b>				0.50	-	-	3.7	
1 大気汚染防止		低Nox、SOx機器の採用	4.0	0.15	-	-	4.0	4.0
2 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.15	-	-	3.0	3.0
2.1 騒音・振動			3.0	0.50	-	-	3.0	3.0
2.2 悪臭			3.0	0.50	-	-	3.0	3.0
3 景観・日照障害の抑制		低層として隣地への日影に対する配慮	3.0	0.15	-	-	3.0	3.0
4 光害の抑制		屋外照明的配置、広角照明の方式、透明ガラス	5.0	0.10	-	-	5.0	5.0
5 地盤環境悪化の改善		透水性情状、日射吸収率の低い屋根材・外装	4.0	0.30	-	-	4.0	4.0
6 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.15	-	-	3.0	3.0
<b>■ LR-1 用途別達成表</b>								
		事務所	工場	-	-	-	目標値分	
		4892 ㎡	1442 ㎡	-	-	-	総合スコア	
1	建築物の総合省エネ	4.0	-	-	-	-	4.0	
3	設備システムのERRIによる評価	5.0	-	-	-	-	5.0	
	高効率化	-	-	-	-	-		
3.1	空調設備	4.0	-	-	-	-		
3.2	換気設備	4.0	-	-	-	-		
3.3	照明設備	5.0	CECIL直輸入	-	-	-		
3.4	給湯設備	-	-	-	-	-		
3.5	昇降機設備	3.0	-	-	-	-		